

会 議 録

会議の名称	第2回 笠原小学校適正配置に関する意見交換会																										
開催日	平成28年2月28日(日)																										
開催時間	午前10時00分 開会・午前12時15分 閉会																										
開催場所	笠原公民館 講座室 A・B																										
議長(委員長・会長) 氏名	鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会会長 矢部 保雄																										
出席者(委員) 氏名 (出席者数)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">委 員</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> <tr> <td>千葉 一安 秋葉寿美子 奥木美恵子 伊藤 幸久</td> <td></td> </tr> <tr> <td>笠原小学校評議員</td> <td style="text-align: right;">5名</td> </tr> <tr> <td>杉田 栄一 荒井 一 岩崎 秀子 石井 正明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸ヶ崎 徹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>笠原小学校</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td>校長 岩淵 雅浩 教頭 松澤 哲也</td> <td></td> </tr> <tr> <td>笠原地区自治会長</td> <td style="text-align: right;">9名</td> </tr> <tr> <td>笠原地区民生児童委員</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> <tr> <td>かさはらいきいきスポーツクラブ</td> <td style="text-align: right;">12名</td> </tr> <tr> <td>笠原小・鴻巣北小保護者</td> <td style="text-align: right;">18名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">24名</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">計 78名</td> </tr> </table>	委 員	4名	千葉 一安 秋葉寿美子 奥木美恵子 伊藤 幸久		笠原小学校評議員	5名	杉田 栄一 荒井 一 岩崎 秀子 石井 正明		戸ヶ崎 徹		笠原小学校	2名	校長 岩淵 雅浩 教頭 松澤 哲也		笠原地区自治会長	9名	笠原地区民生児童委員	4名	かさはらいきいきスポーツクラブ	12名	笠原小・鴻巣北小保護者	18名	その他	24名		計 78名
委 員	4名																										
千葉 一安 秋葉寿美子 奥木美恵子 伊藤 幸久																											
笠原小学校評議員	5名																										
杉田 栄一 荒井 一 岩崎 秀子 石井 正明																											
戸ヶ崎 徹																											
笠原小学校	2名																										
校長 岩淵 雅浩 教頭 松澤 哲也																											
笠原地区自治会長	9名																										
笠原地区民生児童委員	4名																										
かさはらいきいきスポーツクラブ	12名																										
笠原小・鴻巣北小保護者	18名																										
その他	24名																										
	計 78名																										
事務局職員 職 氏 名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">教育総務部長</td> <td style="text-align: right;">田中 潔</td> </tr> <tr> <td>教育総務部 副部長</td> <td style="text-align: right;">加藤 薫</td> </tr> <tr> <td>学校教育部 副部長</td> <td style="text-align: right;">服部 幸司</td> </tr> <tr> <td>教育総務課 課長</td> <td style="text-align: right;">村田 弘一</td> </tr> <tr> <td>副課長</td> <td style="text-align: right;">川畷 利徳</td> </tr> <tr> <td>副課長</td> <td style="text-align: right;">岡田 和弘</td> </tr> </table>	教育総務部長	田中 潔	教育総務部 副部長	加藤 薫	学校教育部 副部長	服部 幸司	教育総務課 課長	村田 弘一	副課長	川畷 利徳	副課長	岡田 和弘														
教育総務部長	田中 潔																										
教育総務部 副部長	加藤 薫																										
学校教育部 副部長	服部 幸司																										
教育総務課 課長	村田 弘一																										
副課長	川畷 利徳																										
副課長	岡田 和弘																										
事 務 局 説 明																											
<p>・笠原小学校は、現在、市内で児童の数が最も少ない小学校となっており、平成27年度の児童数は98名、平成28年度の新入学児童は10名を予定している。</p> <p>今後もこの減少傾向は続き、5年後には73名、10年後には62名と見込まれ、将来的には複式学級になることも予想される。</p>																											

・現在、笠原小学校の通学区域となっている安養寺地区の児童は通学距離が遠いという理由から、「通学区域の弾力化」の適用により、鴻巣北小学校に通学している状況であるが、安養寺地区の児童も含めて、笠原小学校通学区域全体で、鴻巣中央小学校への通学区域の変更について、ご意見を伺う。

・常光小学校は、10年後の児童数を見ても、100人を超える小学校ですが、このままの状態が進むと、将来的には100人以下になることも予想されます。このことから将来を見据え、子どもたちの通学する小学校について、ご意見を伺う。

・適正配置を検討する上で、通学距離が遠くなり、安心・安全な通学路の確保は、非常に重要なことから、スクールバスの導入や適正配置後の学校施設利用などご意見を伺いながら、取り組んでいく。

主 な 意 見

・笠原小は、「笠っこなべ」等で地域の方との触れ合いが多くすばらしい学校である。笠原に生まれた人は笠原を拠点とし、暮らしていきたい。笠原小を盛り上げていきたい。

・かさはらいきいきスポーツクラブは発足して12年、スポーツ、健康促進、生きがいに努め、笠原小の児童のスポーツを促進し、学校や地域に根付いている。6親等内の親戚は家が建てられることもあり、笠原に住んでほしい。

・学校がなくなると子どもの声が聞こえなくなる。発想を逆転してもいいから、いろいろな道を探ってもらい、140年の伝統校を残してもらいたい。

・笠原小から北中に行った子どもの中に不登校はいない。地域、保護者、学校が一体となって考えていきたい。

・笠原には3世代、4世代同居も多く、思いやりのある子どもたちが多く。子どもたちのために考えていきたい。

・笠原小をなくすのではなく、中央小や常光小から笠原小に来れば良い。

・笠原小がなくなることにより危機感を感じている。自然環境に恵まれ、地域住民との繋がりも強い笠原小学校を中心とした適正配置を考えて欲しい。

・大が小を飲むという考えは捨て、環境を重視し、将来子どもがのびのび生活できる笠原から小学校をなくすことは反対である。

・前向きに、笠原小をいかに残すかを考えてほしい。内田ヶ谷線を基準にして、笠原小、常光小の通学区域を考えてもらいたい。

- ・ 緑あふれる自然環境の中で心豊かで明るい性格に子どもたちは育っている。地域創生を考えるなら、笠原地域の緑あふれる自然の学校を残し、中央小を笠原に入れたほうがよい。
- ・ 笠原小がなくなると余計さびれていく。小規模校をなくすことは少子化対策として真逆のやり方である。
- ・ 大きな学校のメリットを強調しているが、小さな学校も先生が目が行き届きいいところもたくさんある。
- ・ 安養寺を切り離れたままでは、地域の輪、自治会の輪がなくなる。農業基盤にも影響し深刻である。地域の輪を考え、地区割りを行ったほうがよい。分断は好ましくない。
- ・ 笠原地区は市街化調整区域で家が建てられない。笠原小は体力、学力も劣っていない。環境が良いからである。
- ・ 学校がなくなると、笠原地区の存亡の危機である。地域社会の発展の問題である。学校の維持管理費がかかり財政的に苦しいうえ、国からの地方交付税が減るから学校の統廃合をしていく方法は間違いである。大きな目で、まちづくりの面から学校問題を考えていただきたい。
- ・ 市街化調整区域のままでは、人口は増えず、コンパクトシティという考えからますます都市部に集中してしまう。